

夏はボボーンと盆踊り！

玉川の夏といえば納涼盆踊り大会！今年もあります！やります！踊っていただきます！どの会場も老いも若きも、男性も女性も、もちろん小さなお子さんも大歓迎！地元商店会、町会、法人会、PTA 等が中心になって運営する屋台も出ます、食べさせます、飲ませます、遊ばせま〜す！皆さんぜひぜひお誘い合わせの上、さあレッツ盆！盆！でも、「盆踊り」ってお盆の時期に行くから「盆踊り」っていうことでいいの？実はそのとおり、いいんです。「盆踊り」の名前の由来は、年に一度この世に戻ってくる精霊を迎え、また送るための風習である「盂蘭盆会（うらばんえ）」の時期に踊るから「盆踊り」というのです。そのルーツは意外と古いようです。「盆踊り」のルーツは、一説には鎌倉時代中期に一遍が広めた「踊り念仏」といわれています。それが次第に宗教色が薄れ、踊りそのものにウェイトが置かれるようになり、戦国時代には、そのものズバリ！お盆の時期に踊る「盆踊り」として登場。江戸時代中期には「盆踊り」の名称も定着。明治初期や戦時中は「盆踊り」も中止させられていましたが戦後に復活、各地で大ブレイクしました。さあ今年も暑い夏を盆踊りで吹き飛ばしましょう！



< 煉 田 >

毎年美味しい屋台や楽しい催しが盛りだくさんの
瀬田盆踊り大会に参加して暑気払いしましょう!



7月28日(土)・29日(日)

於：瀨田小学校校庭

時間：午後6時～9時

< 玉川 >



美味い屋台が
楽しい催しです！
お待ちしております！

月 27 日 (金)・28 日 (土)

於：国道246 高架下ふれあい広場

時間：午後 7 時～午後 9 時

* てくたく刀サッチ#67「水車小屋跡」至川 3-27 *

水車小屋は、この谷川緑道の地下を流れる谷川にありました。水輪の直径2丈（約7メートル）、杵12本、粉臼（世田谷地方で2番目の大きさだったそうです）がありまし



た。精米、精麦、製粉の仕事を夜・昼なくしておりましたが、関東大震災（1923）で壊れてしまいました。



< 用 賀 > 『用賀に夏が来た! サマーステージ30』

7月18日(水)・19日(木) 17時～21時 於:くすのき公園



用賀はサマーステージと題して盆踊りのほかに、ステージ上で様々なグループが歌や踊りやダンスを披露する予定。PTA や商店街青年部を中心とした屋台や模擬店は例年大盛況! 今年はどんな屋台が出店するのか? 今から楽しみです! 是非お越しください!

今年は秋い! 世田谷区たまがわ花火大会

今年のテーマは『彩(いろどり)~ 未来につながる親和の夜空 ~』

10月13日(土) 午後6時～7時

四季折々に魅せる風景、地域の特色を生かした活力のある生活、感性が光る芸術の創造、世田谷区は老若男女が十人十色の個性を持ち、魅力的な生活文化を育んでいます。その輝く力を「彩」と表現し、多彩な変化に富む小型の花火や、精彩に映えわたる最大10号玉の打ち上げ花火を、澄み渡る秋の夜空に華々しく染め上げていきます。

『川崎市制記念 第77回多摩川花火大会』

多摩川花火大会は1929年に始まり、本年で77回を迎える歴史ある花火大会で、多くの市民に親しまれています。今年も世田谷区たまがわ花火大会との同時開催により、一層華やかな大会となります。

今年もスターメインやナイアガラのほか、音楽と花火のコラボレーション“ハナビリュージュン”を予定しています。



日時:平成30年10月13日(土)

* 荒天の場合は中止、順延なし

花火打上げ午後6時00分から

午後7時00分まで(予定)

場所:川崎市高津区諏訪・多摩川河川敷

(第三京浜道路・国道246号

〔二子橋〕間の河川敷)

かつては、六郷橋で川開きとして始まったのがきっかけの、多摩川の夏の風物詩「多摩川花火大会」。昨年は荒天のため中止となりました。今年は天気が落ち着く秋の開催です。二子橋下流河川敷一帯には例年約19万人が集まり、テーマに即した花火や音楽花火のほか、スターメインや仕掛け花火などが夏の夜空を彩ります。この花火大会は、多摩川をはさみ、「世田谷区たまがわ花火大会」との同時開催です。